



日本医療福祉生活協同組合連合会

東日本大震災支援ニュース No.35

(2011年4月8日 18時現在)

被災地の医療福祉生協の状況

○みやぎ県南医療生協

7日に、庄内医療生協が医療福祉生協連提供の電動自転車を届けました。

尼崎医療生協グループの支援者3名とみやぎ県南医療生協の職員が力を合わせ、山元町から要請のあった要介護避難者の入浴介助に奮闘。町の避難所では、自衛隊による入浴サービスが始まっていたが、介護の必要な人は震災以来入浴できていなかった。そこで「あおぞら」の利用者さんが帰宅を始める16時から、毎日10名以内で入浴してもらうことに。

4月5日に入浴に訪れた方は、100歳を向かえた方で、避難所で町長からお祝いを受けるとともに、入浴後にみんなで“ハッピーバースデー”を歌ってお祝いしました。お年寄りが長生きでき、子供たちが健やかに育ち、安心して働ける暮らしが一刻も早く訪れるように、私たちも頑張らねば…。(4月7日付尼崎医療生協東日本大震災救援ニュースNo.21及び7日付みやぎ県南医療生協東日本大震災ニュース第2号より抜粋)

○郡山医療生協



大熊町、富岡町、楢葉町など原子力発電事故の影響で郡山高校に避難している方々へ、150人分の昼食の炊き出し。支援物資の一つ電動自転車はヘルパーステーションに配置し、地域包括支援センターなどと共同で利用へ(写真左)。5日に浜通り

医療生協へ電動自転車と紙オムツを積んで支援に向かったワゴン車が、帰りにニンジンをお土産に積んできました(写真右)。(対策本部ニュースNo.21より抜粋)

○福島中央市民医療生協

4月2日、訪問看護師が避難所を訪問し、血圧測定や爪切り、フットケアの支援。翌日も、別の避難所にて健康相談と血圧測定。4月5日は、作業療法士1名、医師1名、看護師2名が避難所でバイタル測定と体調の聞き取り。(4月2～7日付、避難所等支援報告より)

○浜通り医療生協

4月8日午後2時35分、震災以来続いていた断水が復旧し、通水へ。(4月8日付長谷部専務理事からのメール)

支援状況

○長野医療生協

宮城県への医療支援を継続しています。6日に戻ってきた第9陣は松島海岸診療所へ行きました。現地での活動内容は、①松島町・東松島市の津波被災地（生協組合員＋α）のお宅を訪問すること、②直接的な被害がない方も含む全組合員訪問（約6500、うち被災者は1500～2000程度）です。4日現在で、170万円近い義援金が寄せられています。（4月4日付、支援ニュースより抜粋）

○利根保健生協



4月7日、地域の組合員さん10人・南相馬市の避難の方10人の合同で健康チェックと交流企画を行いました。レインボー体操や脳トレを行い大好評でした。

参加された被災者からは「こんなに笑ったのは久しぶり」「利根中央病院に受診した。生協の病院は親切でとても有難かった」「利根中央病院の職員から沢山の衣類の提供を受けた。皆さんによろしく」などの声をかけていただきました。

○富山医療生協

4月8日現在で249万円の義援金が寄せられています。

○茨城保健生協

2次支援として、4月9日から11日まで、理学療法士1名、作業療法士1名、介護福祉士2名、事務2名の計6名を宮城県塩釜市の支援拠点病院へ派遣。（4月7日付須貝東光専務理事からのメールより抜粋）

○医療生協さいたま

医療支援のためのプロジェクトを立ち上げた日本プライマリケア学会へ埼玉協同病院の院長、副院長が4月6日、パルスオキシメーター5台を贈呈。（4月4日付、震災対策本部ニュースNo.24より抜粋）

○尼崎医療生協

救援対策会議を開催し、①医療支援については民医連近畿地協、医療福祉連合会の要請に積極的に応えること、②今後の独自支援方針具体化に向けた被災地の視察（支援物資届けも兼ねて）、③組合員ボランティアによる支援の可能性の追求、などの基本方針を確認しました。これを受け、4月10日より福島専務が松島医療生協、みやぎ県南医療生協へ出発します。（4月8日付、支援ニュースNo.22より）

○岡山医療生協



震災直後より、支援を開始しています。組合員さんから寄せられた毛布等を岡山県に持ち込みました（写真は毛布を袋詰めする職員）。青空健康チェックで募金活動に取り組んでいます。4月12日より医師1名、看護師2名、事務員2名が第3次支援隊として宮城県に医療支援に向います。

○鳥取医療生協

4月6日、事務1名が宮城県へ出発。13日には、看護師1名、理学療法士1名、事務2名が宮城県に出発します。（4月7日付、支援ニュースより）

○広島中央保健生協

4月10日より、看護師1名が宮城県に医療支援へ。以後も、医師2名、放射線技師1名が医療支援予定。（支援対策ニュースNo.22、No.23より抜粋）

○たじま医療生協

4月4日、事務1名含む職員2名が、宮城県に医療支援へ。4月5日（火）WHO世界保健デー・健康チェックの取り組みとあわせて、コープデイズ豊岡で街頭募金。1時間余りで約29,000円の募金が寄せられた。（4月6日付、支援ニュースNo.3より）

○医療生協健文会

4月5日に薬剤師1名、4月6日に看護師1名、事務1名が宮城県入り。薬剤師会の要請を受け、さらに薬剤師1名が4月7日に宮城県入り、4月中に計5名の薬剤師が支援へ。200万円を超える義援金が寄せられています。（ニュースNo.5、No.7より）

○香川医療生協

4月6日、高松協同病院の入院患者さん50名を誘ってお花見会。きんぶち公園に計220人がつどい、桜並木で震災救援募金51,512円を集めました。

7日には近隣スーパー前で街頭募金活動にとりくみました。今回はへいわこどもクリニックから所長、師長、事務長等の5名と、平和病院から4名の計9名で行いました。震災からもうすぐ1か月となります。「自分も何か出来ることがあれば」と募金してくれる方が今もたくさんいます。（4月8日付ニュースより抜粋）

義援金総額（4月7日現在）

6754万5021円（47生協、個人、事業者）

担当：江本（at_e@hew.coop）・丸山（kj_m@hew.coop）

電話：03(4334)1580、FAX：03(4334)1585